

平成22年2月分電力需給状況

需要の概要

平成22年2月の販売電力量は、23億7千1百万kWh時、前年比 102.8%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、2月上中旬の気温が前年に比べ低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、前年比 102.4%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、電灯と同様の気温要因などから、前年比 102.0%となった。

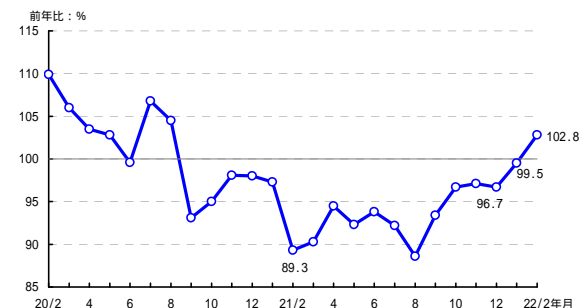
産業用の「大口電力」は、繊維や紙・パルプが引き続き低い水準で推移したものの、化学や鉄鋼、機械などが前年を上回ったことなどから、前年比 105.7%となった。

〔需要実績〕

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	940	102.4
	電 力	168	99.1
	計	1,108	101.9
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	484	102.0
	産業用電力	779	104.5
	うち大口電力	(610)	(105.7)
	計	1,263	103.5
販売電力量 計		2,371	102.8
融 通		357	84.7

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



〔大口電力の主な産業別内訳〕

		(百万kWh時、%)		
		前年比		
		22/2月	22/1月	21/12月
織 維	21	80.2	71.1	83.6
紙・パルプ	128	97.2	89.1	92.7
化 学	90	122.0	104.5	83.9
鉄 鋼	68	109.2	92.8	104.5
機 械	132	110.5	108.9	108.7
そ の 他	171	104.6	101.3	96.3
合 計	610	105.7	98.3	96.2

注：日本標準産業分類の改訂に伴い、平成21年4月より産業別内訳がそれ以前と異なる。
平成21年4月以降の前年比は、前年同月実績を現在の区分に合わせることで算定した。

(参考2) 4県都平均気温

		22/1月				22/2月			
		上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績		5.5	5.5	7.5	6.2	7.0	6.5	12.5	8.4
平年差		0.9	0.2	2.2	0.4	1.7	0.0	6.0	2.3
前年差		1.5	0.0	0.8	0.2	0.6	3.1	3.5	0.3

供給の概要

- 原子力は、定期検査の影響により、前年比 58.6%となった。
- 水力は、前年の豊水の影響などにより、前年比 71.4%となった。
- 火力は、原子力、水力の減少などにより、前年比 146.6%となった。

〔供給実績〕

		(百万kWh時、%)		備 考
		電力量	前年比	
原子力	(27)	773	58.6	出水率 120.9% (21年2月出水率 167.9%)
水 力	(6)	170	71.4	
火 力	(66)	1,936	146.6	
新工ネ	(1)	30	107.0	
発電電計	(100)	2,909	100.1	
その他		2		
供 給 計		2,911	100.1	

注1：新工ネには西条バイオマス(1百万kWh時)を含む 注2：()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量計	(107.2)	529	(102.1)	385	(100.1)	825	(103.2)	632

注：()内は前年比